



野本 信行
議員

人口の減少化、少子化の要因と対策について

人口の減少化、少子化の要因と対策について

が、進行にストップがかからない状況にある。その要因や、今後の施策について伺う。

質問

人口の減少化、少子化の進行を旧1市2町の共通課題の1つとして掲げ、合併後も色んな施策が展開されてきた

市長答弁

人口減少化、少子化の要因としては、死亡数が出生数を上回っていること、転出が転入



池田 達夫
議員

並行在来線問題の現状について

並行在来線問題の現状について

する支援、「並行在来線の健全経営確保」の内容を伺う。

また、富山県並行在来線対策協議会が1月にとりまとめた「富山県並行在来線経営計画概要(第1次)」の「運行計画」の内容を伺う。

質問

2月17日、国土交通大臣と新潟県知事が締結した「北陸新幹線(新潟県区間)に係る合意書」の、「並行在来線に対

を上回っていることなどが挙げられる。その対策として、結婚支援・子育て環境の充実や、地元就職・U・Jターン就職の促進等に努めてきた。今後もし産年齢人口の増加に向け、雇用機会の創出や雇用環境の整備、結婚支援・子育て支援等の取り組みが必要と考えており、他自治体の先進事例も参考に、施策を調査・研究していきたい。



市長答弁

合意書の「並行在来線に対する支援については、貨物調整金の増額のほか、豪雪対策等の支援により、30年間で780億円相当の支援を行うというものである。

「並行在来線の健全経営確保」は、並行在来線の健全な経営に向け、国としても必要な配慮、協力をを行うとしている。

「富山県並行在来線経営計画概要(第1次)」の運行計画等では、県境をまたぐ運行を確保するため、隣県会社との間で相互直通運輸を行うこととし、当県の乗り入れ区間は

今後の地域づくり活動と地域づくりプランについて

質問

21の地区公民館体制で今後、「地域づくりビジョン」に基づき、地区住民が主体となつて、地区の総意による「地域づくりプラン」を構築し、自主的・主体的な地域づくりを進めていくとのことであるが、「策定するかどうかは地区住民の判断による」とはどういうことか。また、新公民館組織活動との関連はどうか。

市長答弁

地域づくりプランは、住民一人ひとりが自分の住む地域をより良くしていくためにはどうすればいいのかを、住民全体で考え、まちづくり活動につなげていただきたいということを基本的な考え方としている。

また、新公民館体制における地区公民館は、地域の拠点として地域づくり活動も行うことができることから、地域づくりプランの作成や実施にあたり、地区公民館と連携して取り組むようお願いをしている。

糸魚川駅までとしている。

能生地域の3つの問題について

質問

南能生体育館閉鎖の代替措置や跡地利用の計画、(仮称)能生谷保育園建設事業の今後の予定、能生図書館の現状の課題について伺う。

教育長答弁

南能生体育館は平成24年度中に解体の予定であるが、代替施設の整備は予定していない。跡地利用は、今後、地元と協議

を進めていきたい。

(仮称)能生谷保育園については、現在は、社会福祉法人みその会が来年4月の新園舎での開園に向け、設計等の作業を進めている。

能生図書館については、他の図書館に比べ利用者が少ない状況であり、利用が増えるよう、図書館サービスの向上に努めていきたい。

